

第164回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和4年6月24日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北交通審議会第164回船員部会

日 時 令和4年6月24日(金) 13:30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理

豊田委員、鈴木委員

労働者委員 : 鈴木委員、高橋(雅)委員、奈良委員(欠席)

使用者委員 : 増富委員(欠席)、平岡委員、勝倉委員(欠席)

運輸局 : 佐藤海事振興部長、今泉海事振興部次長、

菊地船員労働環境・海技資格課長

上村船員労政課長、鈴木専門官、鈴木労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(4月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料

資料9 「めざせ!海技者セミナーin仙台」の開催について

資料10 船員労働総合相談窓口の開設について

◎開 会

只今から第164回船員部会を開催させていただきます。

議事に入ります前に、今回の部会から委員の交代がありましたのでご紹介いたします。

公益代表の佐々木直人委員の後任につきまして、国立宮古海上技術短期大学校長の鈴木昭広様が新しく委員に任命されました。ここで、鈴木委員からご挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

【鈴木公益委員挨拶】

【今泉海事振興部次長】

〔第164回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

【高橋（真） 部会長】

それでは、議事に入ります。

初めに、前回の船員部会で質問のあった「緊急安全点検」の船舶数のうち小型船の内訳（隻数）、日本小型船舶検査機構の所管・監督及び東北管内の出先について、事務局から報告をお願いします。

【菊地海技資格課長】

船員労働環境・海技資格課長の菊地です。

前回の船員部会でご回答できなかった件につきまして、回答させていただきます。

1つ目、知床での旅客船事故を受けまして、東北運輸局管内で行いました緊急安全点検の船舶数のうちの小型船の内訳についてですが、宮城県内で全体として38隻の点検を行いました。そのうち小型船舶は38隻のうち27隻でした。また、東北運輸局管内で、全体で69隻の点検を行いました。そのうち小型船舶は全体で69

隻のうち小型船舶は48隻でした。

日本小型船舶検査機構（J C I）につきまして、国土交通省のどの部署で所管・監督されているかというご質問ですが、所管部署については、国土交通省の海事局検査測度課の所管となっております。なお、地方運輸局では、所掌しておりません。

また、J C Iの東北管内の出先につきましては、宮城県塩竈市の仙台支部と青森県青森市の青森支部の2つの支部がございます。以前は秋田支部というものもございましたが、平成26年1月に統合ということで廃止となっております。

なお、東北のうち、福島県の西会津地方、福島県西会津町と会津美里町については、新潟支部の管轄となっております。

以上、ご報告させていただきます。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問はありますか。

ないようですので、お手元にあります議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔上村船員労政課長から資料1～7に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問等ありますか。
よろしいですか。

それでは、ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

続きまして、「議題（2）情報提供について」に入ります。

委員の皆さんから情報提供をお願いします。

最初に、労働者委員からお願いします。高橋委員、お願いします。

【高橋（雅）労働者委員】

私から、大型の捕鯨船ですけれども操業を開始しております。6月8日に広島
の因島から出港しております。現在、2隻体制で、13日から三陸沖でニタリクジ
ラの操業を開始しております。

捕獲可能数については150頭。計画では7月と9月に2回、仙台港で水揚げして、
11月初旬に漁を終える予定となっております。

あともう一点、今月末で石巻地区の沖底、あと近海の底曳きの漁が終了します。
水揚げですが、沖底のほうは大体平均で2億1,000万円くらいの金額を上げていま
す。現在、12隻いますけれども、水産庁の「もうかる漁業」の2年目が終了しま
す。また、9月から3年目の最終の事業が始まることになっています。

それから、19トンの船ですが、こちら平均で大体1億を超えたくらいの数字
になっています。

以上です。

【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

それでは、使用者委員、お願いします。平岡委員、お願いします。

【平岡使用者委員】

海技教育機構の海上技術学校及び海上技術短期大学校の令和3年度の卒業生で、
海上産業へ就職した学生は331名と、引き続き堅調に推移しました。

一方、令和4年度の入学状況に関しては、定員400名に対して入学者数が369名
で、31名の定員割れとなっております。昨年度も20名の定員割れとなっており、
将来的には船員の供給に支障をきたす可能性もあり、学生の確保に向けた対応が
求められています。

6月20日に、海事局海技課船員教育室と海技教育機構本部及び日本内航海運組
合総連合会、船員対策委員のメンバーで意見交換会が開催され、現在、業界の意
見を集約中でございます。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

そのほか、情報提供で何かございますか。

今、平岡委員から海技学校の話がございましたが、鈴木委員、何かございますか。

【鈴木公益委員】

私は前任校が唐津海上技術学校で、すぐそばの長崎の海上技術学校もそうでしたが、やはり募集が厳しくて、千葉の館山海上技術学校を含めまして、本科校は3校全てが残念ながら定員割れでした。

既にホームページでも発表されましたので皆さんもご存じかと思いますが、唐津校については今年度募集を停止して、来年度、今度は短大に移管することについて、既に機構本部あるいは学校のホームページで発表されておりましたので、情報提供させていただきます。

【高橋（真） 部会長】

移管するというのは、中卒での募集がなくなるということですか。

【鈴木公益委員】

そうです。今年度は中卒の生徒の募集をストップしまして、今年度は高校2年生に対して、来年、いわゆる短大の募集を始めますよということを周知して、令和5年度に入学試験をして、令和6年4月に短大として開校すると。内容も小樽校と同じ、航海専科という形でということで、ホームページに載っておりますので、ご確認いただければと思います。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

少子化が進んでいて、特に今の高校生、中学生はどんどん減ってきているので、陸上に関しても募集が多分難しい中で、特に船員を希望する子供たちがどんどん減っているという状況なので、どういう対応をすればいいかというのはなかなか

難しいのですけれども、さらに深刻化しているという状況になってきております。

これに関して情報とかあれば、今後も引き続き情報提供をお願いしたいと思っております。そのほかございますか。

情報はないようですので、次に、資料8の「船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料」について、事務局のほうからお願いします。

〔上村船員労政課長から資料8に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問ございますか。

では、私から質問ですが、最低賃金の改正に関する検討資料は、このデータを基に運輸局長が諮問するかしないかを判断する資料だというふうに理解したのですが、そう理解していいですね。これが基本になってということ。

それで、資料の作り方ですが、一番上は最低賃金の審議状況で、決まったのいいのですが、2番目の消費者物価指数の動向は、これだと2021年度の物価指数となっています。ところが、3番目のA重油以降は、2022年度の4月のデータも入っているわけです。つまり、現在進行形の資料と、去年の段階の資料が混在しておりますので、物価指数も同じように、2022年の3月、4月の日銀や総務省の発表データで、速報値があると思うので、諮問するかしないかの判断する材料として最新の物価指数を入れておかないと、ほかのものは全部新しいものが入っていて、物価指数だけ去年のデータが入っているというのは検討資料としては不十分ですので、現在の速報値を入れておいていただいたほうがデータとしては正確かなと思いますので、ご検討ください。よろしく申し上げます。

【今泉海事振興部次長】

只今の高橋部会長からご指摘がありましたように、資料として既に出ているものについては最新版のところを入れるようにして、諮問の判断をいただくことにさせていただきたいと思っております。

【高橋（真） 部会長】

すみません、よろしくお願いします。

それでは、続きまして、資料9の「めざせ！海技者セミナーin仙台」について、事務局から報告をお願いします。

〔上村船員労政課長から資料9に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

それでは、海技者セミナーに関して、ご意見、ご質問ございますか。よろしいですか。

それでは、続きまして、資料10の「船員労働の総合相談窓口の設置について」、をお願いします。

〔菊地海技資格課長から資料10に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

総合相談窓口に関して、ご意見、ご質問ございますか。

質問等ないようですので、本日の議事は終了となります。

次回の船員部会は、7月22日金曜日の13時30分から、会場は4階会議室で開催します。

◎閉 会